

(テーマ) 「在宅医療」知っていますか？家で最期まで療養したい人に
ーピンピンコロリなんか無理とちゃうでー

(申請者) 市橋 正子

(助成対象年度) 2015年度後期 指定公募①「市民の集い開催への助成」

(提出年月日) 2016年10月20日

テーマ：「在宅医療」を知っていますか？最期まで家で暮らしたい人に
—ピンピンコロリなんか無理とちゃうで

開催：2016年 10月15日 13:00～16:00

参加者：21人（同行の小児は含まず）

20歳代～90歳代

神戸市須磨区大田町、大池町、大手町、その他の地域に住む市民

ボランティア：神戸大学保健学科前期博士課程 6名

兵庫医療大学看護学部助教 1名

（報告・感想）

昨年度、在宅医療の啓発活動で行われた寸劇の続編として住民参加型でシンポジウムを行った。

企画時に、会場を予定していた建物の許認可が延期になったため、本会の開催を見合わせる検討をしたが、一過性の活動でなく、地域住民への啓発活動として必要であったので、多くの専門職やボランティア、学生の協力もあり、開催の運びとなった。

参加者から「楽しかった」「健康を考えた」「普段考えないことを考えた」「日常介護の息抜きになった。」など、よい評価を多くいただき、開催運営スタッフの喜びとなった。

訪問看護師や往診医について、まったく知らず、事業所がなにをやっているところか、よくわからなかったという地域住民もいた。

地域住民が健康や在宅医療に関して関心を高め、医療者もまた、地域住民と交流できたことで、「地域の文化」を学んだ。

地域の子どもや障害児やその親の参加を見込んで、遊びのコーナー、ロコモチェックや健康相談を行った。参加住民や子どもたちとともに大変楽しい時間を過ごした。

神戸市須磨区の地域包括ケアシステムの構築に向けて、住民の関心を高め、継続的な健康活動への参加意欲につながった。

そのことは神戸市須磨区で安心して最期まで暮らせるしくみづくりのひとつになったと思う。

本講座は公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団の助成により行うことができ、深く感謝申し上げます。

NPO 法人思葉会

「在宅医療」を知っていますか？最期まで家で暮らしたい人に

ーピンピンコロリなんか無理とちゃうでー

日時：2016年 10月15日（土） 13:30～16:30

須磨区大田町、大手町にお住まいのみなさま、こどもたち、
みんなで学んで楽しい一日を過ごしましょう

- 13:30～13:40 挨拶 市橋正子
- 13:40～14:20 ランチセミナー なごみの家 松本京子 氏
「ホームホスピスの現状と地域密着型事業への期待」
- 14:30～15:30 シンポジウム
「ピンピンコロリって無理とちがうで」
・地域で最期まで暮らすためのシステムとは？
・自分の健康を維持・強化するためには？
地域で働く医師・看護師・理学療法士・介護支援専門員・介護士13名
- 15:30～16:30 健康測定
ロコモチェック
介護相談
ボランティア・スタッフ：神戸大学保健学科前期博士課程 6名
兵庫医療大学看護学部助教1名

* 本会は公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団の助成により行うことができ、
深く感謝申し上げます。